

令和2年度高齢者権利擁護等推進員養成研修
他施設での取り組み報告・自施設実習について

〈 他施設での取り組み報告・意見交換会 〉

1 目 的

受講者が、他施設（県が選定した介護保険施設）の取り組み報告を聞いて意見交換を行うことにより、自施設との相違を学び、自施設の課題を整理する。

2 研修内容

（1）他施設の取り組み報告

- ① 特別養護老人ホーム 昭寿荘 介護主任 佐野 武志 氏
- ② 特別養護老人ホーム ひかり屋形 管 理 者 守屋 英一 氏

（2）意見交換会

権利擁護の取り組み報告を聞いて、自施設実習に向けて質問やアドバイスを得るなど、活発な意見交換を行う。

3 報告書の記載

- （1）他施設と自施設の相違と他施設の取り組み報告を聞いて学んだこと
- （2）自施設の課題と自施設で取り組めること（課題についての解決策等）

〈 自施設実習 〉

1 目 的

受講者が、自施設の他職員と共に、自施設のケアの振り返りと施設の理念を踏まえたケアへの取り組みを検討することにより、権利擁護の実践過程を体験する。

2 実習内容

- （1）他施設の取り組み報告・意見交換会での学びを自施設の他職員（管理者、リーダー、スタッフ等）と共有し、自施設における現状のケアを振り返る。
- （2）自施設の理念（めざす姿）や、現状とのギャップについて話し合い、理念を踏まえたケアについて具体策を検討する。
- （3）実習日：令和2年10月23日（金）～令和3年1月25日（月）の内60日回数、時間は問わないが、1回30分以内の検討会・勉強会・カンファレンス等の中で話し合うことが望ましい。

**※ 実習報告書（様式 I・2）にまとめ、令和3年1月26日（火）の研修3日目に
2部コピーを提出してください。（原本は自身で持っていること）**